

令和 7 年度 地域経済動向調査報告書

2025 年 11 月

遠田商工会

<目次>

I. 調査概要	2
II. 調査結果報告	
1. 回答事業所の属性	3
2. 経営状況について	7
3. 現在直面している課題	17
4. 物価高騰について	20
5. 人出不足について	24
6. 賃上げについて	26
5. 今後商工会に望む支援について	28
6. 本会に対する要望	29
III. 調査票	30

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査結果を本会が事業者に経営支援を行う際など、あらゆる機会を捉えて活用するとともに、広く情報発信することにより、新たな支援先の掘り起こしやアンケートデータの蓄積を行い、経営状況の分析、事業計画の策定、新たな需要の開拓等の個社支援策を講じるために実施する。

加えて、今後の事業所支援に繋げていくことを目的に、物価高騰、人手不足、賃上げ、今後商工会に望む支援について調査を行う。

2. 調査の対象

遠田郡内小規模事業者等

3. 調査数

対象者数 787 事業者

回答数 119 票（回収率 15.1%）

4. 調査方法

遠田郡内小規模事業者等にアンケート用紙を送付。所定の調査項目に基づき調査を実施し、返信用封筒にて回収。

5. 調査期間

令和7年8月7日（木）～令和7年9月12日（金）

6. 調査項目

- ①経営状況
- ②現在直面している課題
- ③物価高騰について
- ④人出不足について
- ⑤賃上げについて
- ⑥今後商工会に望む支援について
- ⑦本会に対する要望

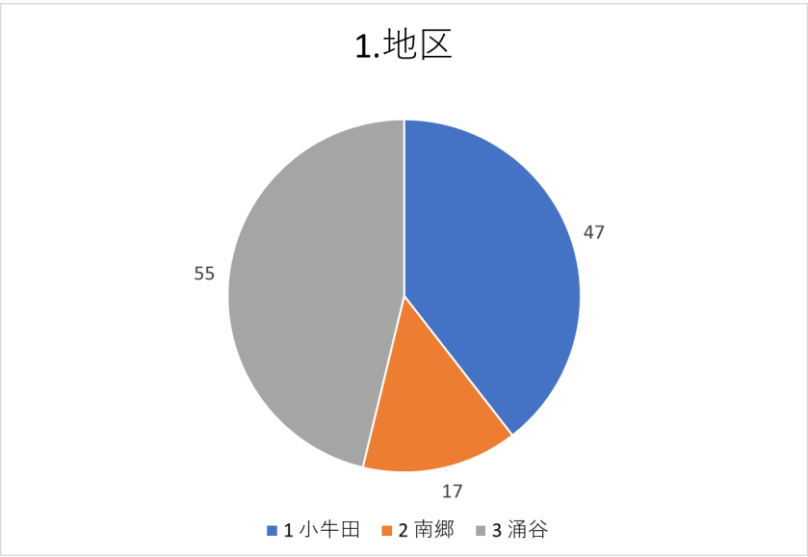
7. その他

- ・今回の調査データだけではなく、過去9年間のデータを活用している箇所がございます。
- ・端数処理は四捨五入しておりますので、必ずしも100%になりません。
- ・設問によっては一部無回答の事業所があるため、大元の回答数とは数が異なる場合がございます。
- ・景況についてはDIを使用しております。DI(diffusion indexes)とは、景気動向指数で、各調査項目の増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示したものです。
- ・本調査票は、ご協力いただいた企業様のアンケート結果であるので、必ずしも当地区の実態に即しているとはかぎりませんので、予めご了承ください。

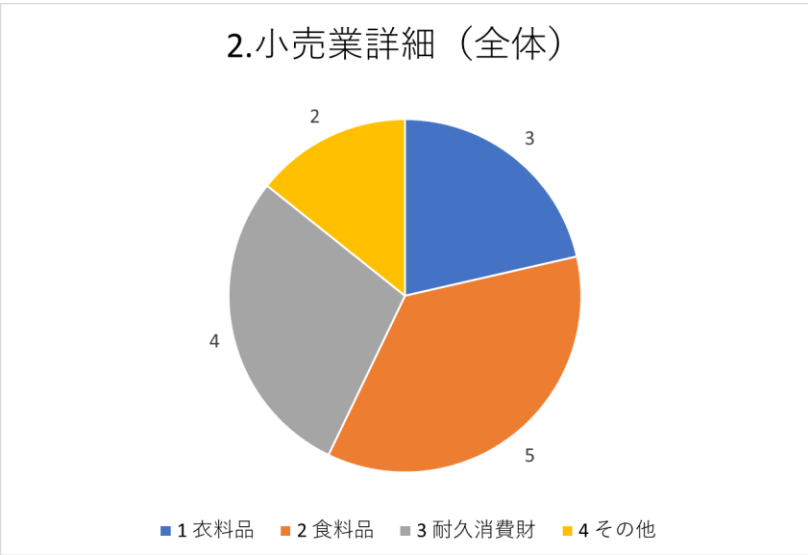
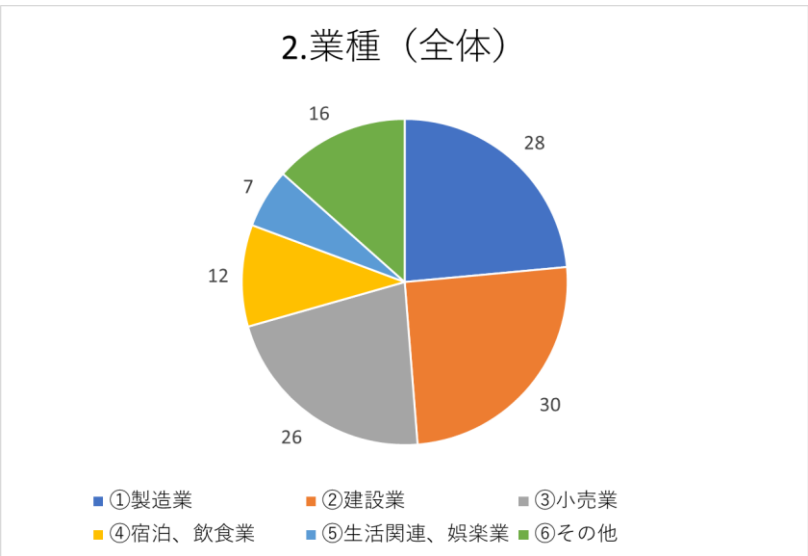
Ⅱ．調査結果報告

1．回答事業所の属性

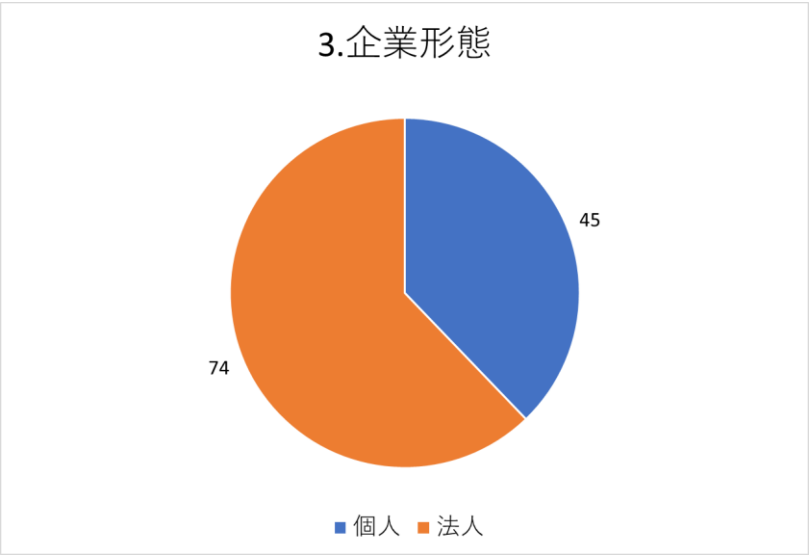
(1) 地区



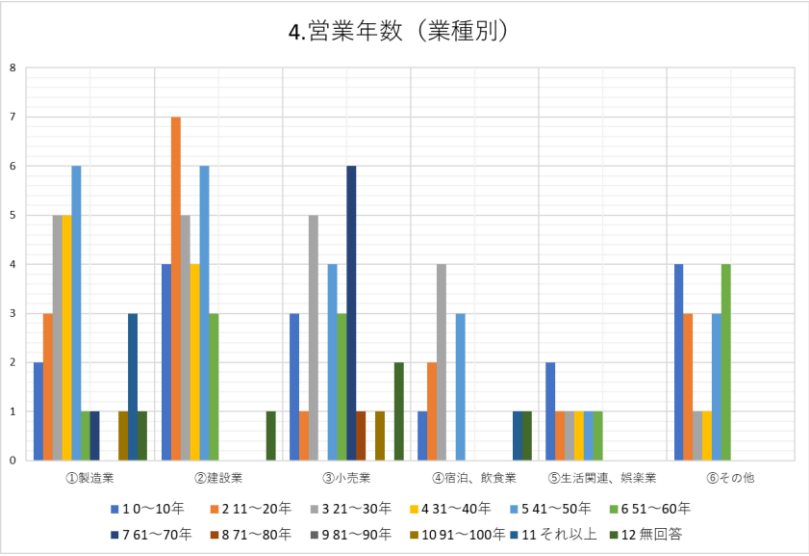
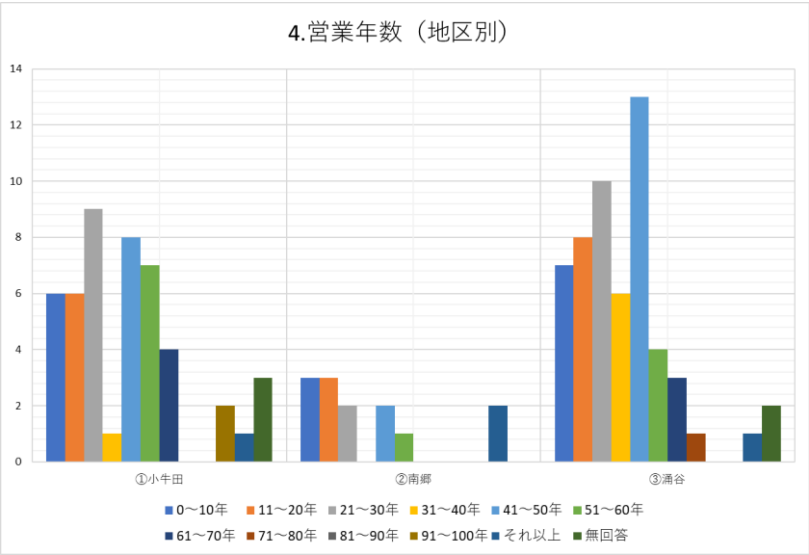
(2) 業種



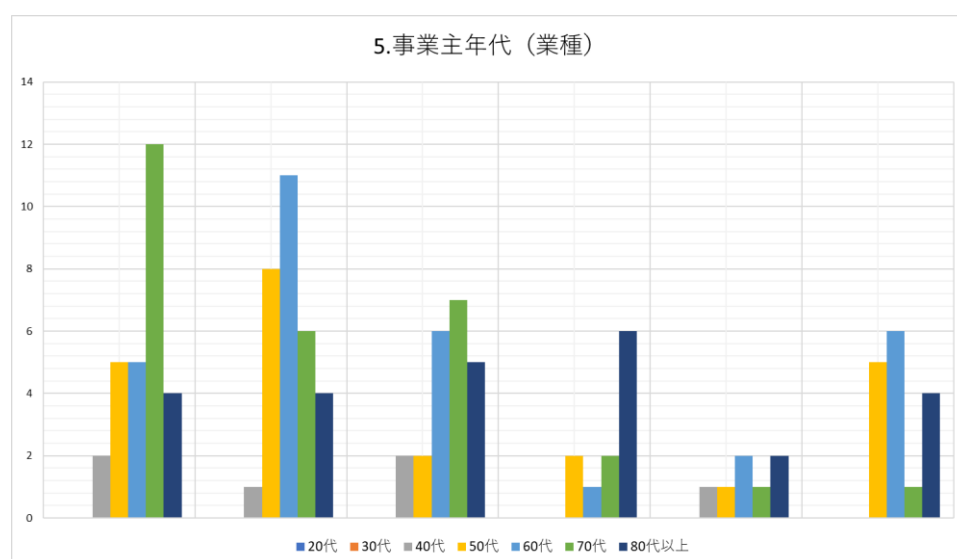
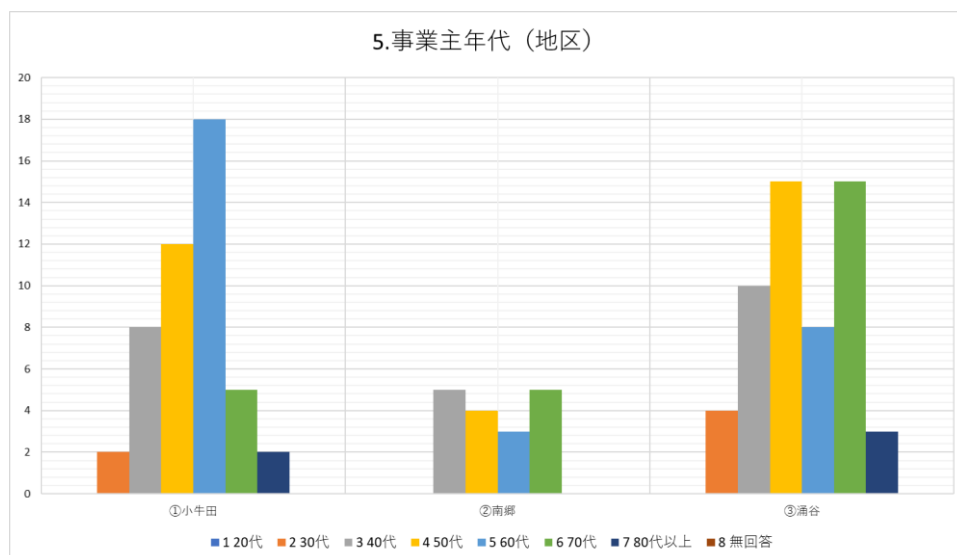
(3) 企業形態



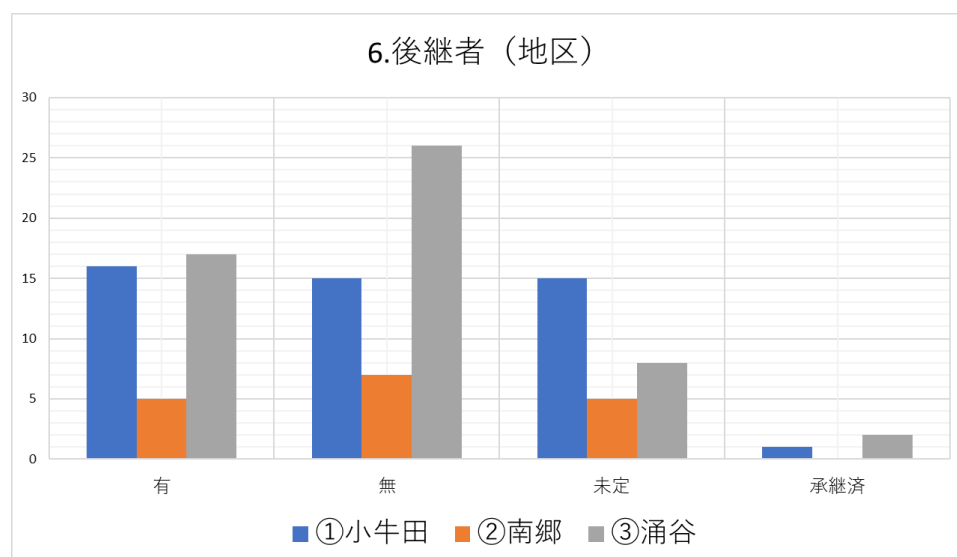
(4) 営業年数

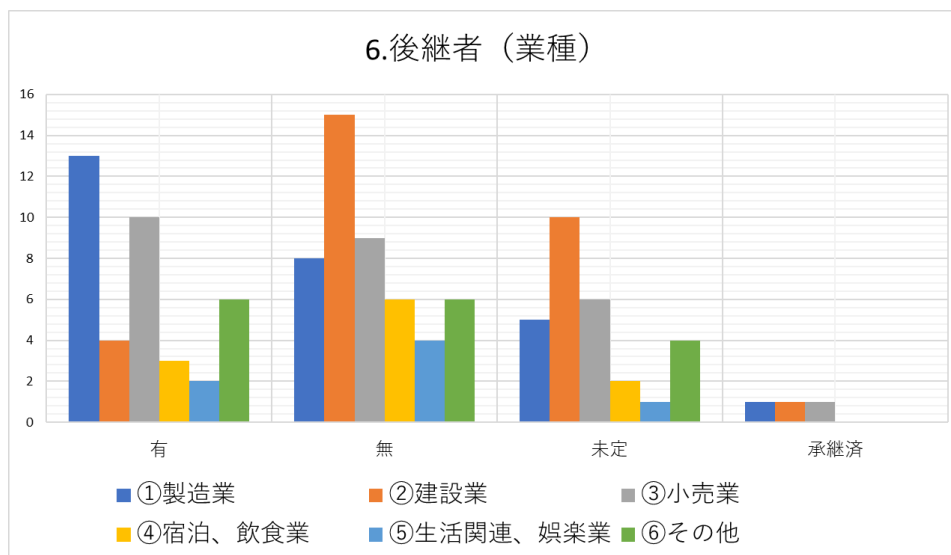


(5) 事業主年代

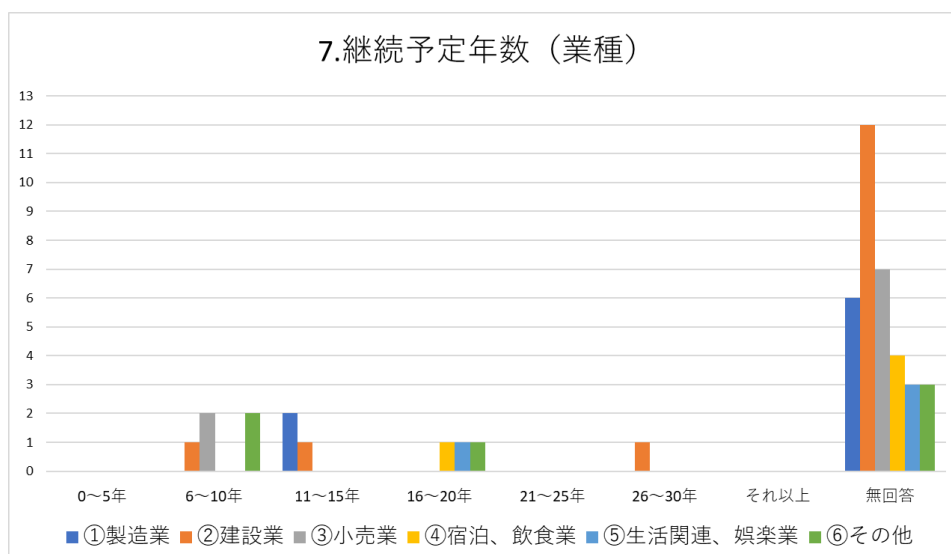
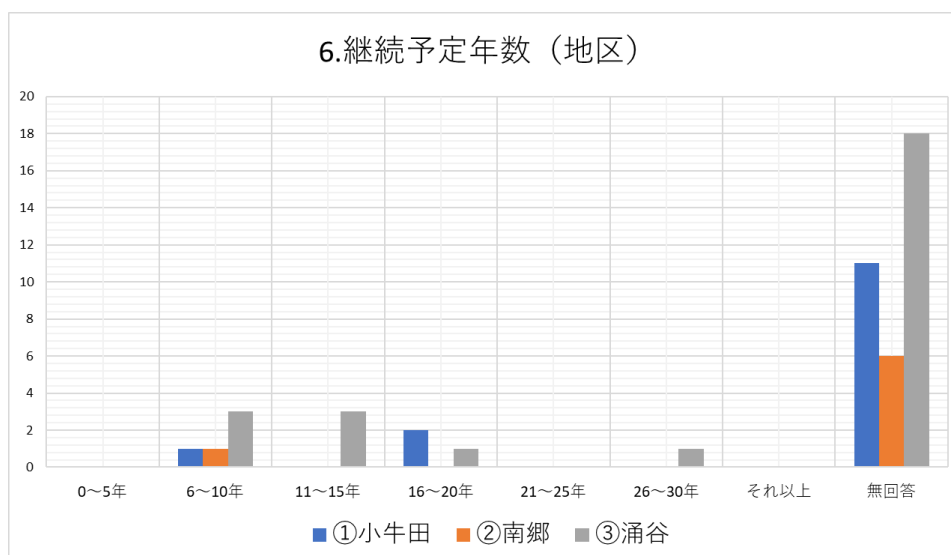


(6) 後継者の有無

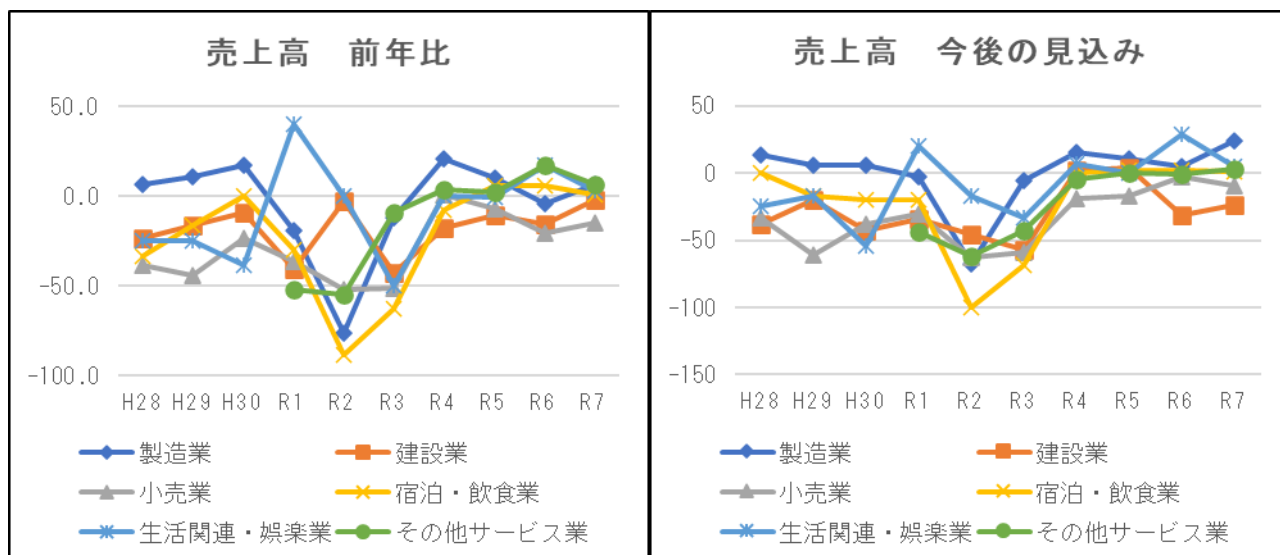




（7）継続予定年数（※（6）にて「後継者無し」を選んだ方）



2.経営状況について



売上高 前年対比

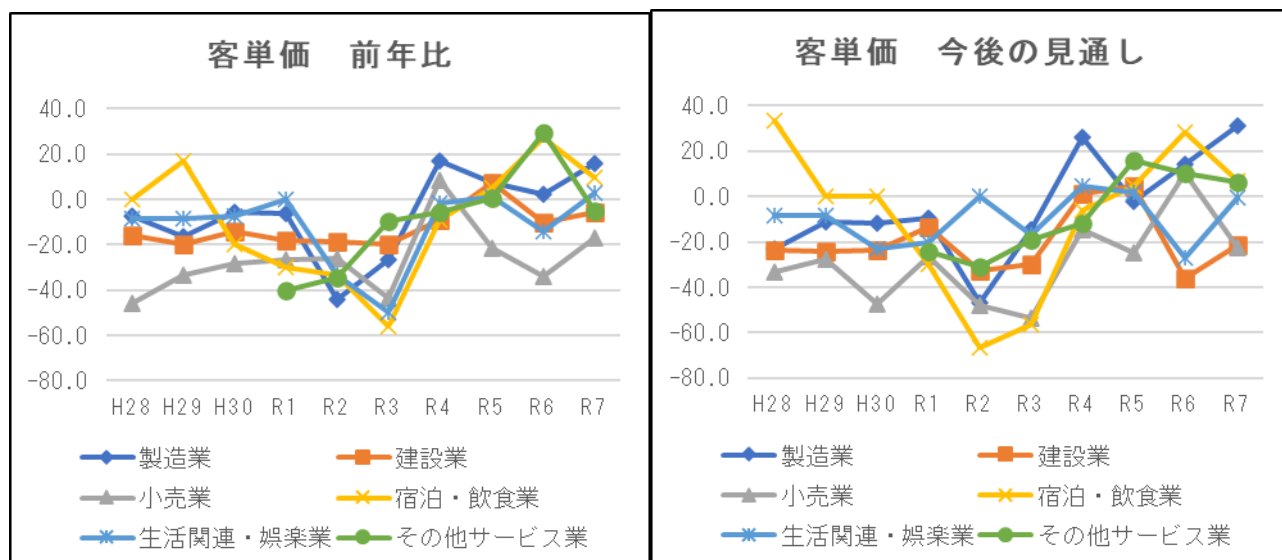
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	6.7	11.1	17.6	-19.4	-76.5	-11.8	21.2	9.9	-4.1	6.5
建設業	-23.8	-16.0	-9.5	-40.9	-2.7	-42.5	-17.9	-10.3	-15.8	-2.1
小売業	-38.4	-44.4	-23.8	-36.7	-51.9	-51.2	0.6	-7.2	-20.5	-14.6
宿泊・飲食業	-33.3	-16.6	0.0	-30.0	-88.9	-62.5	-7.8	5.7	5.8	0.9
生活関連・娯楽業	-25.0	-25.0	-38.4	40.0	0.0	-50.0	0.3	-0.5	17.0	2.8
その他サービス業				-52.0	-55.2	-9.5	3.6	2.4	17.5	6.5

売上高 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	13.3	5.6	5.8	-3.2	-67.6	-5.9	14.9	10.4	4.8	23.5
建設業	-38.1	-20	-42.8	-34.1	-45.9	-57.5	1.9	4.3	-31.7	-23.9
小売業	-33.3	-61.1	-38.1	-30.0	-63.0	-58.5	-18.8	-17.3	-2.4	-9.2
宿泊・飲食業	0	-16.6	-20	-20.0	-100.0	-68.8	0.0	2.0	1.6	1.3
生活関連・娯楽業	-25	-16.7	-53.8	20.0	-16.7	-33.3	6.5	0.1	28.6	5.2
その他サービス業				-44.0	-62.1	-42.9	-4.5	0.4	-0.8	2.9

売上高においては、前年対比でほぼすべての業種で良化が見られる一方、小売業においては悪化傾向は変わらない。

今後の見通しについては、特に建設業において大きく悪化する見込みとなっている。



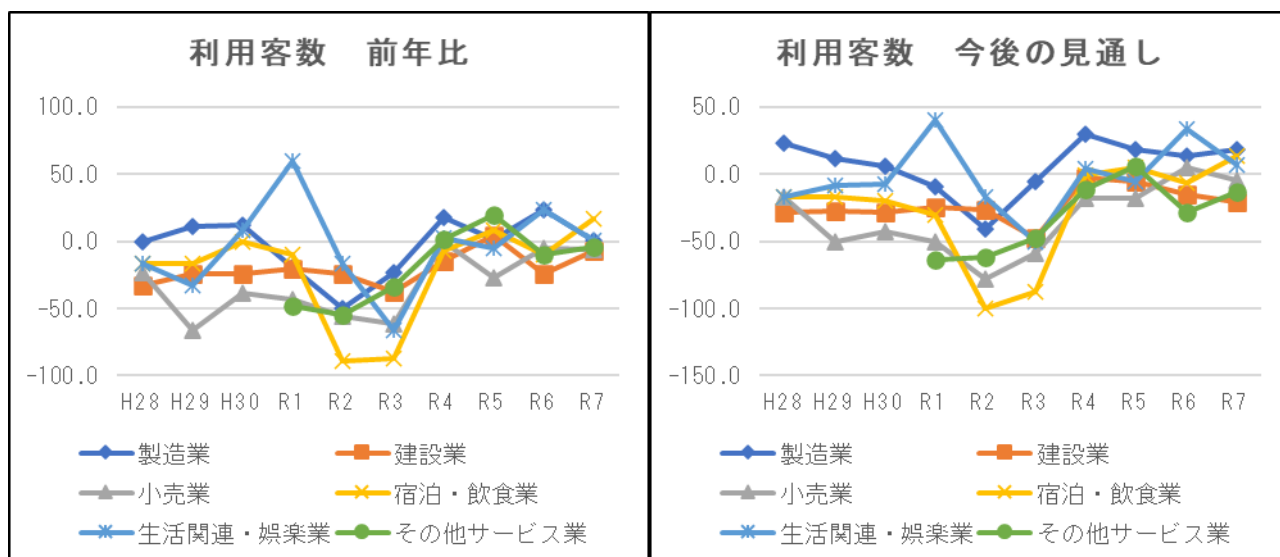
客単価 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	-7.2	-16.7	-5.9	-6.5	-44.1	-26.5	17.2	7.5	1.9	15.6
建設業	-15.8	-20.0	-14.3	-18.2	-18.9	-20.0	-9.1	7.5	-10.4	-5.6
小売業	-46.1	-33.2	-28.6	-26.7	-25.9	-43.9	8.3	-21.4	-33.8	-17.0
宿泊・飲食業	0.0	16.7	-20.0	-30.0	-33.3	-56.3	-9.0	4.9	27.3	9.6
生活関連・娯楽業	-8.4	-8.4	-7.7	0.0	-33.3	-50.0	-1.8	1.1	-14.3	2.6
その他サービス業				-40.0	-34.5	-9.5	-5.5	0.4	29.2	-5.2

客単価 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	-23.1	-11.1	-11.7	-9.7	-47.1	-14.7	26.3	-2.1	14.3	31.0
建設業	-23.8	-24.0	-23.8	-13.7	-32.4	-30.0	1.5	4.7	-36.4	-21.2
小売業	-33.3	-27.8	-47.6	-26.7	-48.1	-53.7	-14.4	-24.6	10.4	-22.4
宿泊・飲食業	33.3	0.0	0.0	-30.0	-66.7	-56.3	-6.3	4.3	28.6	7.0
生活関連・娯楽業	-8.4	-8.4	-23.1	-20.0	0.0	-16.7	4.8	1.9	-27.3	-0.6
その他サービス業				-24.0	-31.0	-19.0	-11.9	15.8	10.4	6.3

客単価においては、前年比で製造業、宿泊業・飲食業、生活関連・娯楽業で良化が見られた。今後の見通しについては、建設業、小売業において大きく悪化する見込みとなっている。



利用客数 前年比

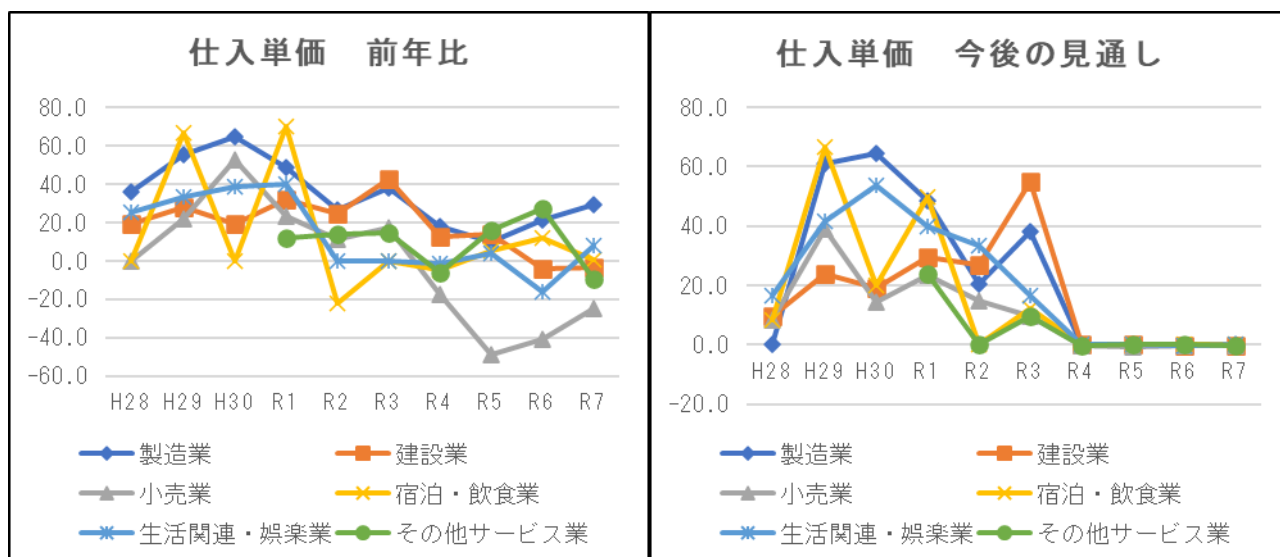
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	0.0	11.0	11.7	-19.4	-50.0	-23.5	17.8	1.6	23.8	0.8
建設業	-33.3	-24.0	-23.8	-20.5	-24.3	-37.5	-14.5	3.9	-23.8	-7.0
小売業	-23.0	-66.6	-38.1	-43.3	-55.6	-61.0	-0.1	-27.5	-4.8	-6.2
宿泊・飲食業	-16.7	-16.6	0.0	-10.0	-88.9	-87.5	-7.4	8.2	-9.5	16.3
生活関連・娯楽業	-16.7	-33.3	7.7	60.0	-16.7	-66.7	2.4	-5.4	23.8	0.5
その他サービス業				-48.0	-55.2	-33.3	1.7	19.2	-9.5	-4.5

利用客数 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	23.1	11.1	5.9	-9.7	-41.2	-5.9	29.5	17.8	13.3	18.3
建設業	-28.6	-28.0	-28.6	-25.0	-27.0	-47.5	-2.3	-5.6	-15.6	-20.5
小売業	-16.7	-50.0	-42.9	-50.0	-77.8	-58.5	-17.9	-17.9	4.4	-4.8
宿泊・飲食業	-16.7	-16.6	-20.0	-30.0	-100.0	-87.5	-1.1	4.9	-6.7	13.7
生活関連・娯楽業	-16.6	-8.4	-7.7	40.0	-16.7	-50.0	3.5	-5.2	33.3	6.6
その他サービス業				-64.0	-62.1	-47.6	-11.7	6.0	-28.9	-13.4

利用客数においては、前年比は製造業、宿泊業、生活関連・娯楽業で上向き傾向が見られたが、それ以外の業種では下向きとなっている。

今後の見通しでは、建設業、小売業、その他サービス業以外の業種において上昇傾向となっている。



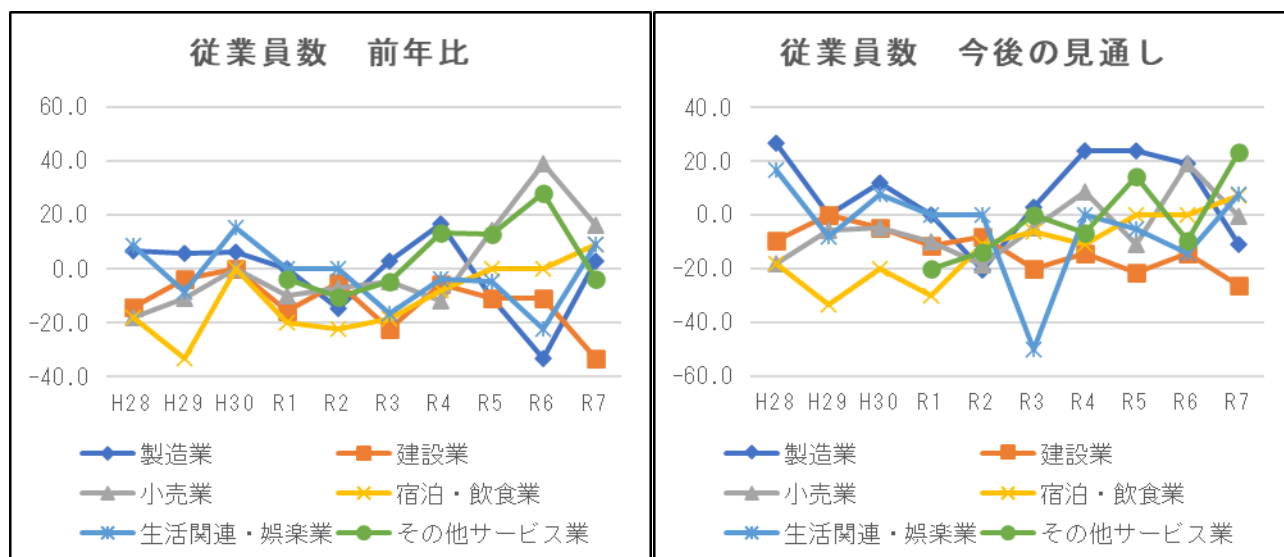
仕入単価 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	35.7	55.6	64.7	48.4	26.5	38.2	17.7	9.7	21.2	29.1
建設業	19.0	28.0	19.1	31.8	24.3	42.5	12.4	13.8	-3.8	-3.6
小売業	0.0	22.2	52.3	23.3	11.1	17.1	-17.4	-48.5	-40.9	-24.7
宿泊・飲食業	0.0	66.7	0.0	70.0	-22.2	0.0	-5.0	5.2	12.1	0.5
生活関連・娯楽業	25.0	33.4	38.5	40.0	0.0	0.0	-1.7	4.2	-15.9	8.1
その他サービス業				12.0	13.8	14.3	-6.1	15.6	27.3	-9.4

仕入単価 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	0.0	61.1	64.7	48.4	20.6	38.2	0.3	0.1	-0.1	0.3
建設業	9.5	24.0	19.1	29.5	27.0	55.0	0.1	0.1	0.0	0.0
小売業	8.3	38.9	14.3	23.3	14.8	9.8	-0.3	-0.5	-0.2	-0.3
宿泊・飲食業	8.3	66.7	20.0	50.0	0.0	12.5	0.1	0.0	0.1	0.1
生活関連・娯楽業	16.7	41.7	53.8	40.0	33.3	16.7	0.0	0.0	-0.2	0.1
その他サービス業				24.0	0.0	9.5	-0.1	0.2	0.3	-0.1

仕入単価は、小売業とその他サービス業において大幅な悪化が見られたが、今後の見通しについてはどの業種もほぼ横ばいとなっている。



従業員数 前年比

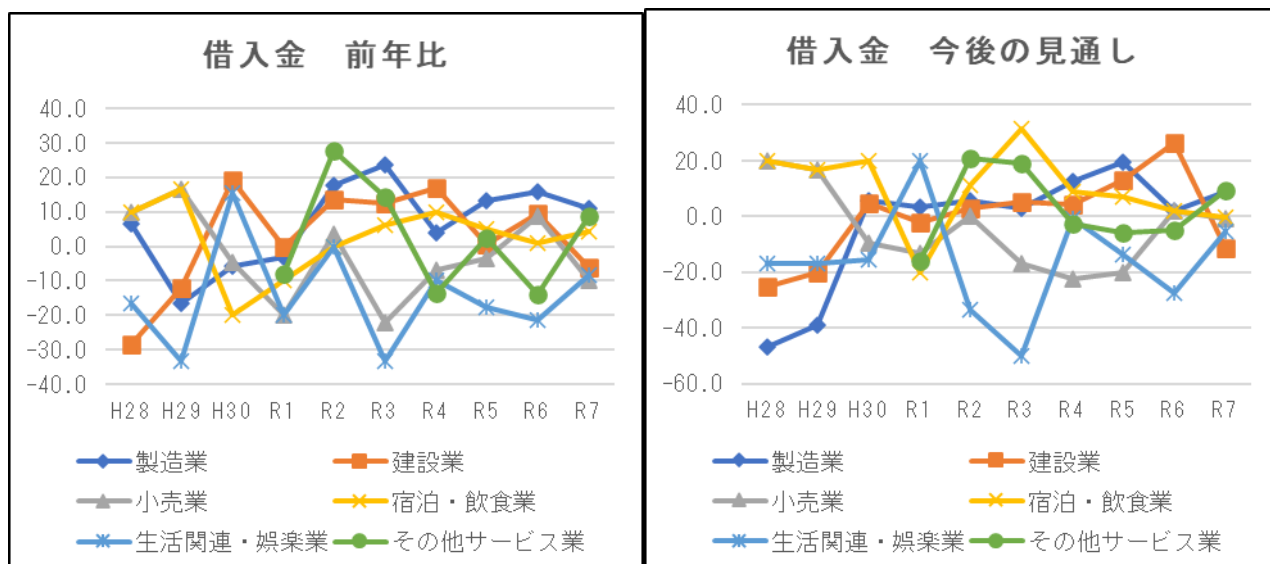
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	6.7	5.6	5.9	0.0	-14.7	2.9	16.4	-11.1	-33.3	3.0
建設業	-14.3	-4.0	0.0	-15.9	-5.4	-22.5	-5.8	-11.1	-11.1	-33.3
小売業	-18.2	-11.1	0.0	-10.0	-7.4	-4.9	-12.0	14.3	38.9	16.2
宿泊・飲食業	-18.2	-33.3	0.0	-20.0	-22.2	-18.8	-8.0	0.0	0.0	9.1
生活関連・娯楽業	8.4	-8.4	15.4	0.0	0.0	-16.7	-4.0	-4.8	-22.2	9.1
その他サービス業				-4.0	-10.3	-4.8	13.3	12.7	27.8	-4.0

従業員数 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	26.6	0.0	11.8	0.0	-20.6	2.9	23.9	23.7	19.0	-10.9
建設業	-9.5	0.0	-4.8	-11.3	-8.1	-20.0	-14.5	-21.6	-14.3	-26.3
小売業	-18.2	-5.6	-4.8	-10.0	-18.5	-4.9	8.3	-11.1	19.0	-0.6
宿泊・飲食業	-18.2	-33.3	-20.0	-30.0	-11.1	-6.3	-11.1	0.0	0.0	7.1
生活関連・娯楽業	16.7	-8.4	7.7	0.0	0.0	-50.0	0.0	-5.3	-14.3	7.7
その他サービス業				-20.0	-13.8	0.0	-6.6	14.2	-9.5	23.1

従業員数は、特に建設業とその他サービス業において悪化傾向が強く見られた。

今後の見通しにおいては、特に製造業、建設業、小売業において大きく悪化傾向となっている。



借入金 前年比

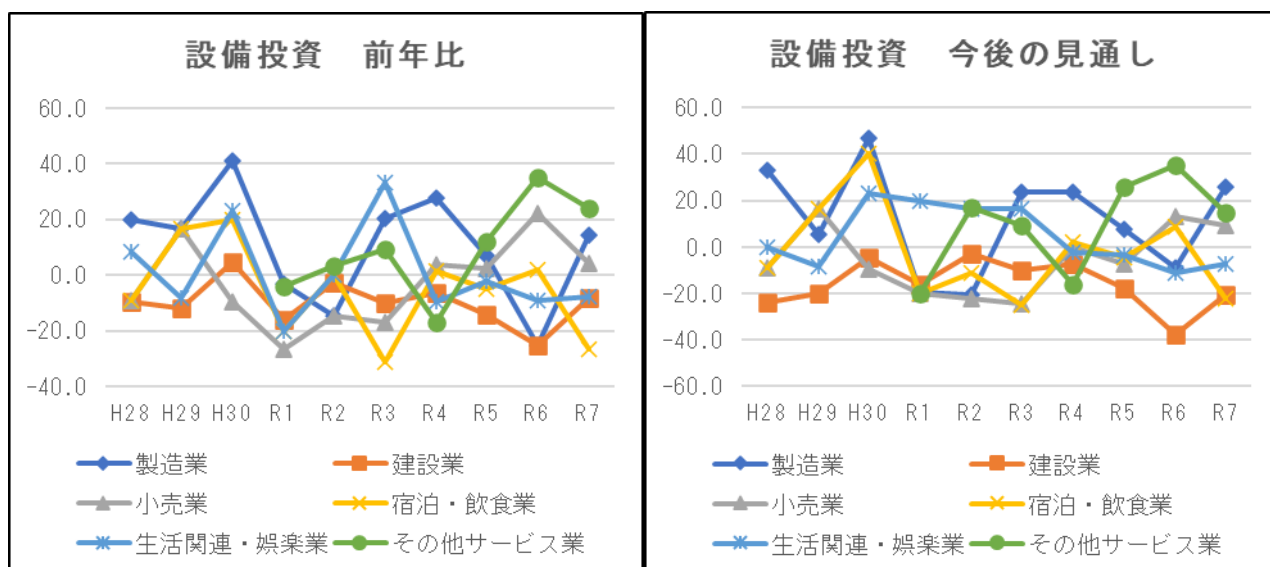
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	6.7	-16.7	-5.9	-3.2	17.6	23.5	3.8	13.2	15.9	11.0
建設業	-28.5	-12.0	19.1	0.0	13.5	12.5	17.1	0.6	9.3	-6.3
小売業	10.0	16.7	-4.7	-20.0	3.7	-22.0	-7.0	-3.5	8.8	-9.7
宿泊・飲食業	10.0	16.7	-20.0	-10.0	0.0	6.3	9.7	5.0	1.1	4.5
生活関連・娯楽業	-16.7	-33.3	15.4	-20.0	0.0	-33.3	-10.0	-17.6	-21.4	-8.3
その他サービス業				-8.0	27.6	14.3	-13.6	2.4	-13.7	8.9

借入金 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	-46.7	-38.9	5.9	3.2	5.9	2.9	12.5	19.5	2.0	8.9
建設業	-25.0	-20.0	4.7	-2.3	2.7	5.0	4.5	13.0	26.3	-11.6
小売業	20.0	16.7	-9.5	-13.3	0.0	-17.1	-22.3	-20.1	2.0	-0.8
宿泊・飲食業	20.0	16.7	20.0	-20.0	11.1	31.3	8.9	7.1	2.0	-0.5
生活関連・娯楽業	-16.7	-16.7	-15.4	20.0	-33.3	-50.0	-0.9	-13.6	-27.3	-5.5
その他サービス業				-16.0	20.7	19.0	-2.7	-5.8	-5.1	9.5

借入金においては、前年比においては建設業、小売業、生活関連・娯楽業において昨年に引き続き大きく悪化が見られた。

今後の見通しにおいては製造業、その他サービス業において良化が見られる。



設備投資 前年比

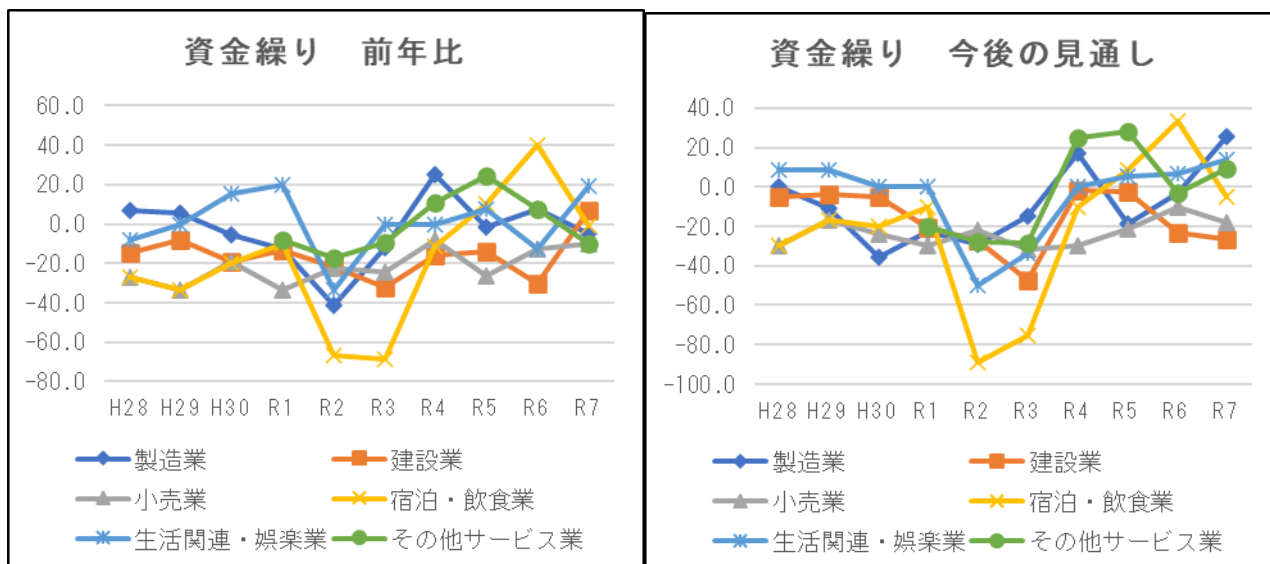
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	20.0	16.6	41.2	-3.2	-14.7	20.6	27.9	7.1	-25.3	14.4
建設業	-9.5	-12.0	4.7	-15.9	-2.7	-10.0	-6.6	-14.3	-25.3	-8.4
小売業	-9.1	16.7	-9.5	-26.7	-14.8	-17.1	3.9	2.4	22.2	4.0
宿泊・飲食業	-9.1	16.7	20.0	-20.0	0.0	-31.3	1.5	-4.8	2.0	-26.4
生活関連・娯楽業	8.3	-8.4	23.1	-20.0	0.0	33.3	-9.7	-2.4	-9.1	-7.7
その他サービス業				-4.0	3.4	9.5	-17.0	11.9	35.4	24.1

設備投資 今野見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	33.3	5.6	47.1	-19.4	-20.6	23.5	23.9	7.8	-8.9	25.9
建設業	-23.8	-20.0	-4.7	-15.9	-2.7	-10.0	-7.1	-17.9	-37.8	-20.4
小売業	-9.1	16.7	-9.5	-20.0	-22.2	-24.4	-0.3	-7.3	13.3	9.3
宿泊・飲食業	-9.1	16.7	40.0	-20.0	-11.1	-25.0	2.0	-4.8	8.9	-22.2
生活関連・娯楽業	0.0	-8.4	23.1	20.0	16.7	16.7	-2.4	-3.6	-11.1	-7.4
その他サービス業				-20.0	17.2	9.5	-16.2	25.8	35.6	14.8

設備投資においては、前年比は製造業において大きな良化が見られた一方で、宿泊・飲食業において大きな悪化が見られた。

今後の見通しにおいては特に建設業、宿泊・飲食業において大幅な悪化が見込まれる。



資金繰り 前年比

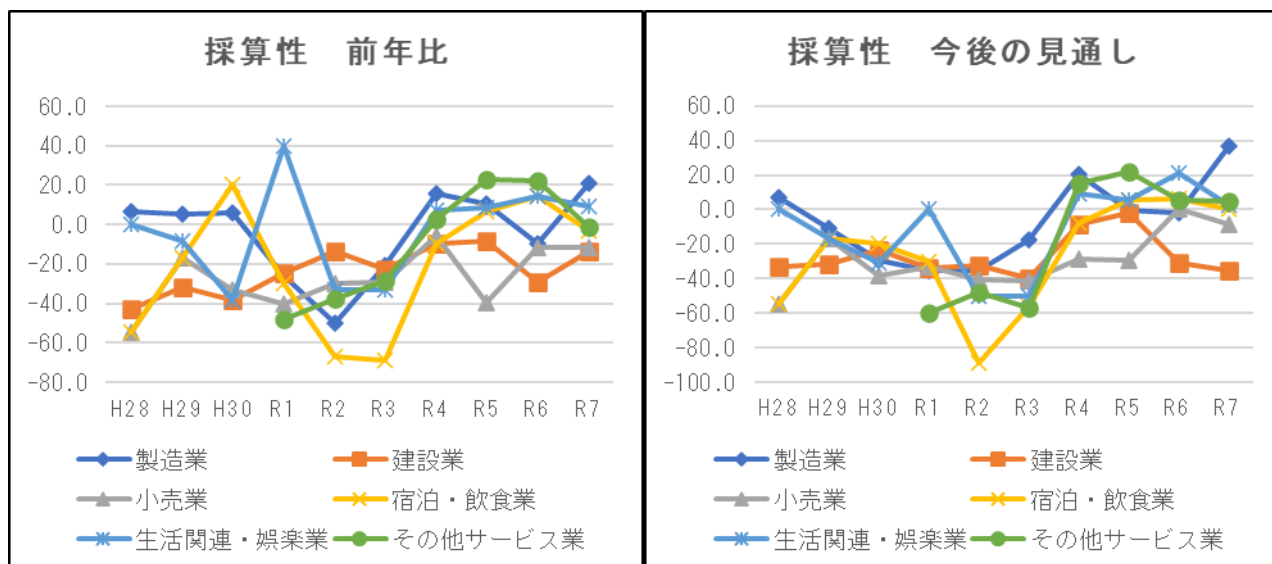
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	6.7	5.6	-5.8	-12.9	-41.2	-11.8	25.0	-1.3	7.5	-5.1
建設業	-14.3	-8.0	-19.0	-13.6	-21.6	-32.5	-15.9	-13.8	-30.0	7.1
小売業	-27.3	-33.3	-19.0	-33.3	-22.2	-24.4	-8.3	-26.3	-12.5	-10.1
宿泊・飲食業	-27.3	-33.3	-20.0	-10.0	-66.7	-68.8	-11.4	9.9	40.0	-1.0
生活関連・娯楽業	-8.4	0.0	15.4	20.0	-33.3	0.0	0.0	7.2	-12.5	19.2
その他サービス業				-8.0	-17.2	-9.5	10.6	24.3	7.5	-10.1

資金繰り 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	0.0	-11.1	-35.3	-22.6	-29.4	-14.7	16.9	-18.6	-3.3	25.9
建設業	-4.7	-4.0	-4.8	-20.5	-27.0	-47.5	-1.7	-2.1	-23.3	-26.3
小売業	-30.0	-16.7	-23.8	-30.0	-22.2	-31.7	-30.0	-21.3	-10.0	-18.0
宿泊・飲食業	-30.0	-16.7	-20.0	-10.0	-88.9	-75.0	-10.0	8.4	33.3	-4.8
生活関連・娯楽業	8.4	8.4	0.0	0.0	-50.0	-33.3	0.0	5.7	6.7	14.0
その他サービス業				-20.0	-27.6	-28.6	24.9	27.9	-3.3	9.2

資金繰りにおいては、前年比において製造業、小売業、宿泊・飲食業、その他サービス業において悪化が見られた。

今後の見通しにおいては、特に建設業、小売業、宿泊・飲食業において大きな悪化が見られる。



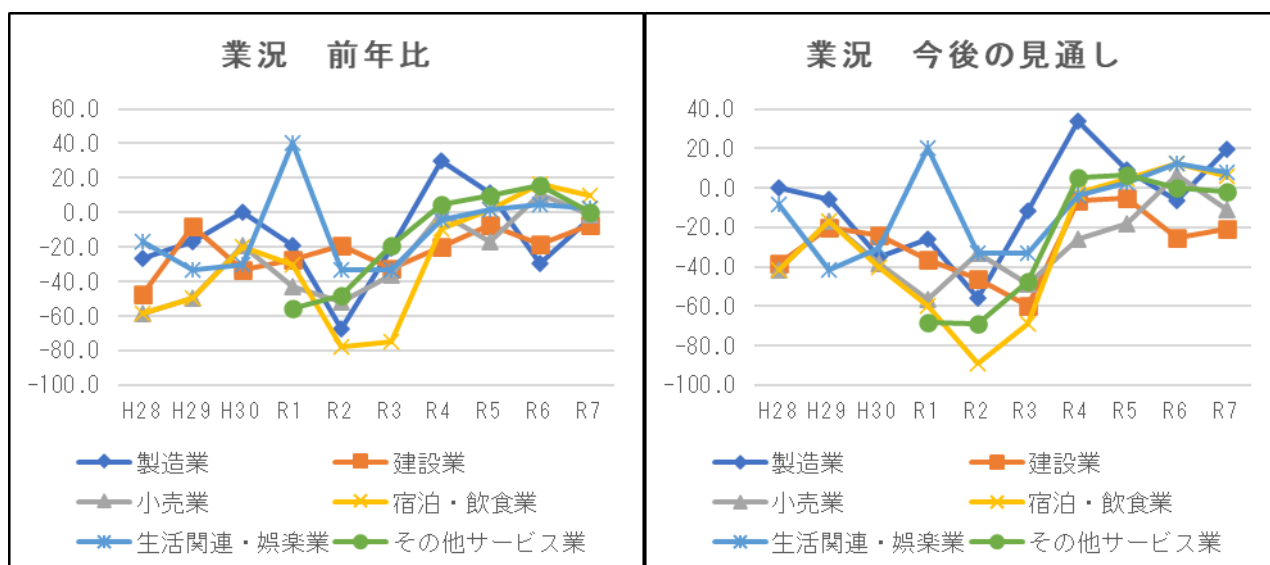
採算性 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	6.7	5.5	5.9	-25.8	-50.0	-20.6	15.7	10.4	-9.4	20.9
建設業	-42.8	-32.0	-38.1	-25.0	-13.5	-22.5	-10.0	-8.3	-29.4	-13.9
小売業	-54.5	-16.6	-33.3	-40.0	-29.6	-29.3	-5.7	-39.6	-11.8	-11.9
宿泊・飲食業	-54.5	-16.6	20.0	-30.0	-66.7	-68.8	-10.0	6.3	14.1	-3.1
生活関連・娯楽業	0.0	-8.4	-38.5	40.0	-33.3	-33.3	7.1	8.3	14.1	9.2
その他サービス業				-48.0	-37.9	-28.6	2.9	22.9	22.4	-1.1

採算性 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	6.7	-11.1	-29.4	-35.5	-35.3	-17.6	20.2	-0.3	-2.2	36.6
建設業	-33.3	-32.0	-23.8	-34.1	-32.4	-40.0	-8.6	-2.2	-30.8	-35.6
小売業	-54.5	-16.6	-38.1	-33.3	-40.7	-41.5	-28.8	-29.8	0.0	-8.5
宿泊・飲食業	-54.5	-16.6	-20.0	-30.0	-88.9	-56.3	-7.6	5.4	6.6	0.2
生活関連・娯楽業	0.0	-16.7	-30.8	0.0	-50.0	-50.0	9.6	5.4	20.9	2.4
その他サービス業				-60.0	-48.3	-57.1	15.2	21.5	5.5	4.8

採算性においては、前年比で製造業において大幅な良化が見られた。今後の見通しにおいても同様の傾向が見られた。



業況 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	-26.6	-16.7	0.0	-19.4	-67.6	-20.6	29.8	11.3	-29.4	-3.5
建設業	-47.6	-8.0	-33.3	-27.2	-18.9	-32.5	-20.0	-7.5	-18.6	-7.3
小売業	-58.4	-50.0	-19.0	-43.3	-51.9	-36.6	-0.9	-16.8	10.8	-1.5
宿泊・飲食業	-58.4	-50.0	-20.0	-30.0	-77.8	-75.0	-9.3	1.8	16.7	9.9
生活関連・娯楽業	-16.7	-33.4	-30.7	40.0	-33.3	-33.3	-4.0	1.8	4.9	2.0
その他サービス業				-56.0	-48.3	-19.0	4.4	9.4	15.7	0.3

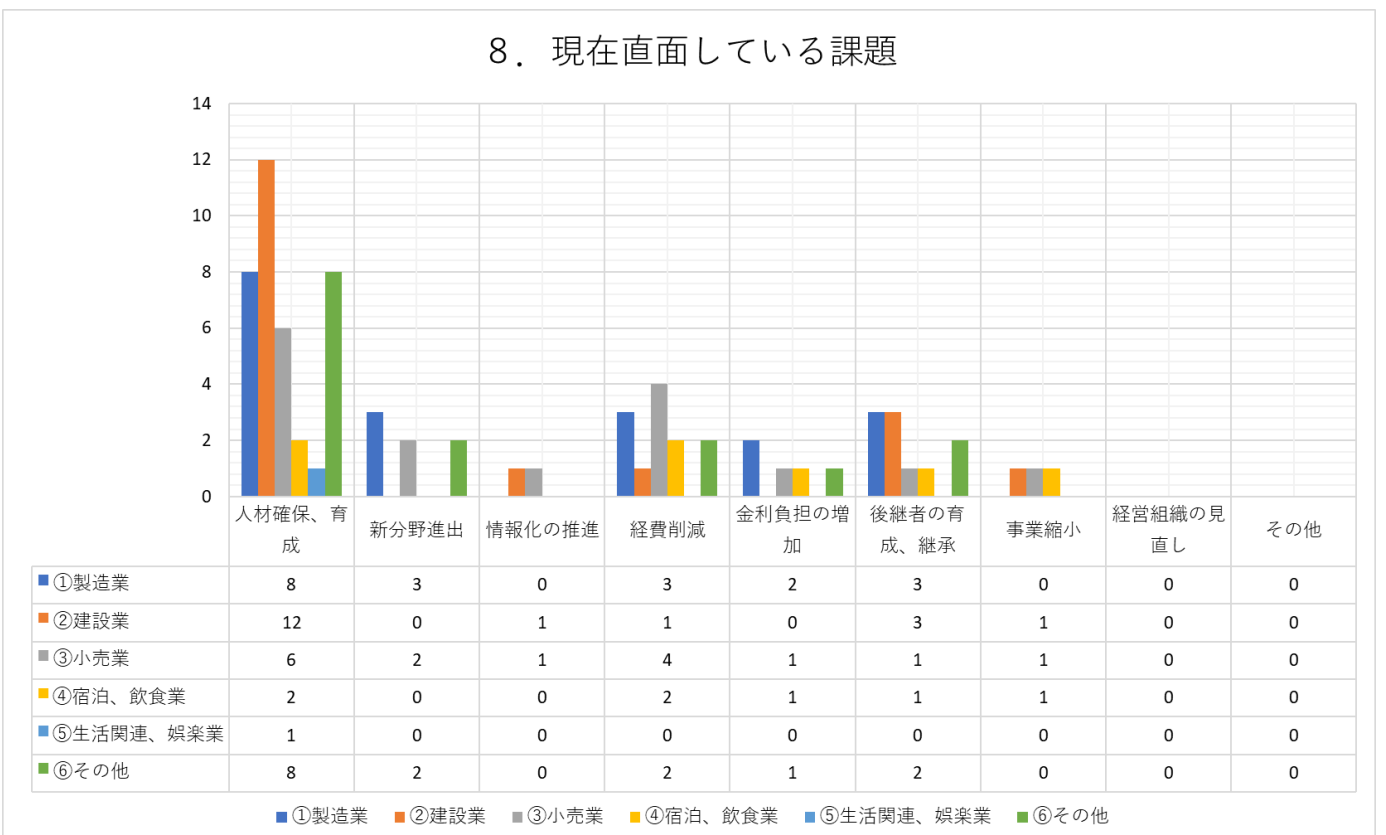
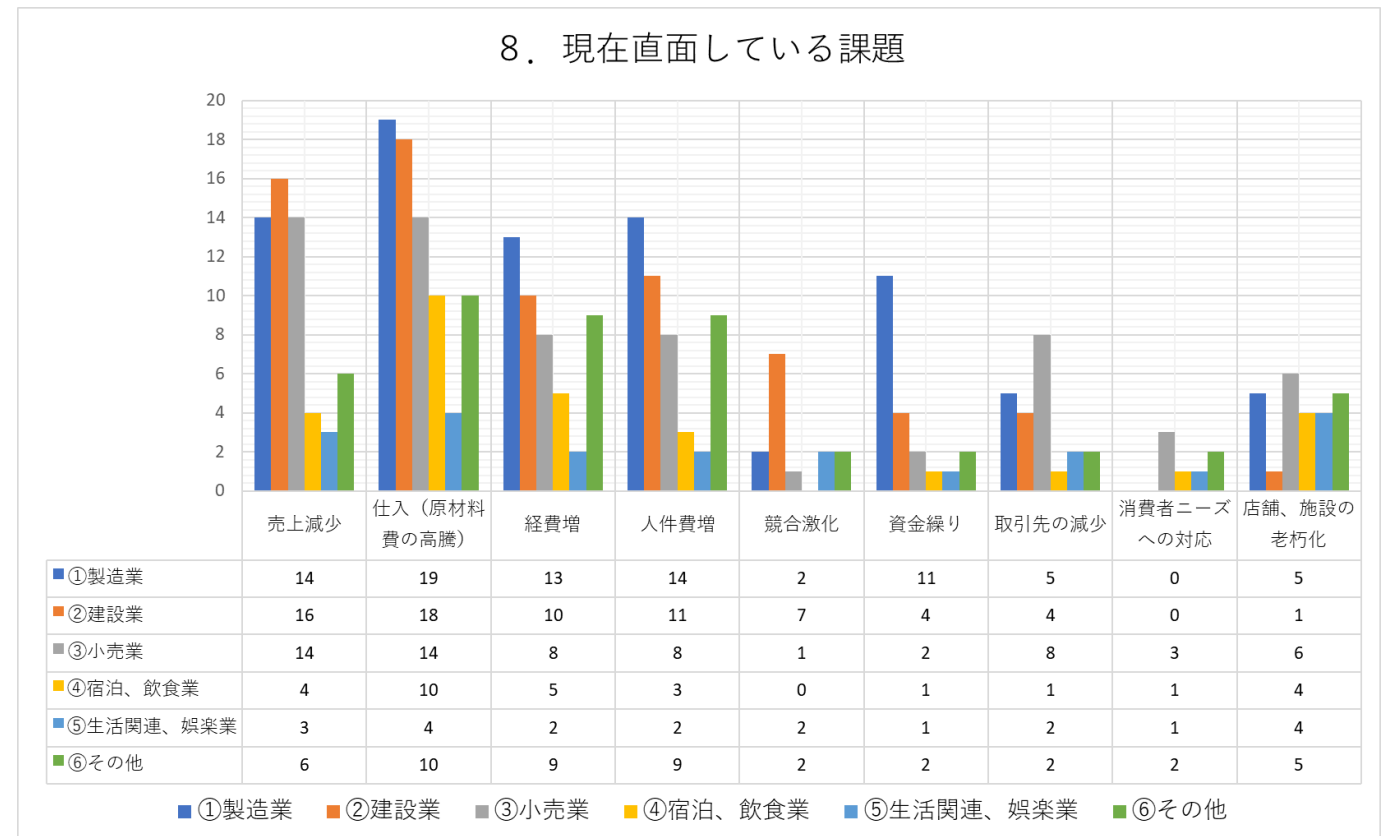
業況 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
製造業	0.0	-5.5	-35.3	-25.8	-55.9	-11.8	33.9	9.3	-6.3	19.5
建設業	-38.1	-20.0	-23.8	-36.4	-45.9	-60.0	-6.3	-5.2	-25.0	-20.9
小売業	-41.7	-16.6	-38.1	-56.7	-33.3	-48.8	-26.0	-18.1	6.3	-10.8
宿泊・飲食業	-41.7	-16.6	-40.0	-60.0	-88.9	-68.8	-2.4	4.8	12.5	6.2
生活関連・娯楽業	-8.3	-41.7	-30.8	20.0	-33.3	-33.3	-4.1	3.0	12.5	8.2
その他サービス業				-68.0	-69.0	-47.6	5.0	6.3	0.0	-2.2

業況においては、前年比において小売業、宿泊・飲食業、生活関連・娯楽業、その他サービス業で悪化が見られた。

今後の見通しにおいては特に建設業、小売業において大きく下降している。

3. 現在直面している課題（複数回答可）



最も多い回答は「仕入（原材料費）の高騰」であり、他に「売上減少」「経費増」「人件費増」「人材確保、育成」も多い結果となった。

<現在直面している課題の具体的内容>

- ・新規取引先の開拓、提供する商品サービスを別な種類に変えていく。
- ・市場調査・仕入（材料等）の高騰により仕入が売上より上回る場合がある。
- ・地元にも同業他社が進出。
- ・消費者のニーズが多様化してきているが、集団指導の学習塾なため、個々のニーズに対応するのが難しくなっている。
- ・営業時間、日数が決められた中で修理整備をするには捗らず日数がかかり売り上げが落ちる。
- ・電気料金が高く、経営に直で影響が出ている。
- ・下請け単価が低過ぎて、月の売上額は上昇しているが、経費負担が多くなっている。薄利状態が続いている。元請けは価格改定に応じてくれない。
- ・仕入は高騰しているが元請けや取引先には反映されません。人件費の単価も上がっている。
- ・経営者の高齢化に伴い健康面が不安定になり従業員1名では作業に時間がかかるので、今のアルバイトさんでは(高齢・Wワーク)不安なのでもう少ししっかり働けるアシスタントが欲しい(パートで長期に働ける方)でも見つけられない。
- ・本当に客数がゼロに近い。老人ホームの売店だけが安定している。
- ・受注が安定しないため不安定。
- ・最低賃金の上昇分を価格に転嫁できず人材の充実図れていない。
- ・売り上げ減少による資金繰りはあるものの、本年後半戦～2026年度内は2027年度に向けては明るい兆しがあるので、人材確保が難しい場面ではあるが、工場内への設備投資など出来るだけ無人化と意識したプロセスで利益確保に繋げ経営状態を良くする為に行動しています。
- ・美容師の確保が困難。
- ・従業員の高齢化。

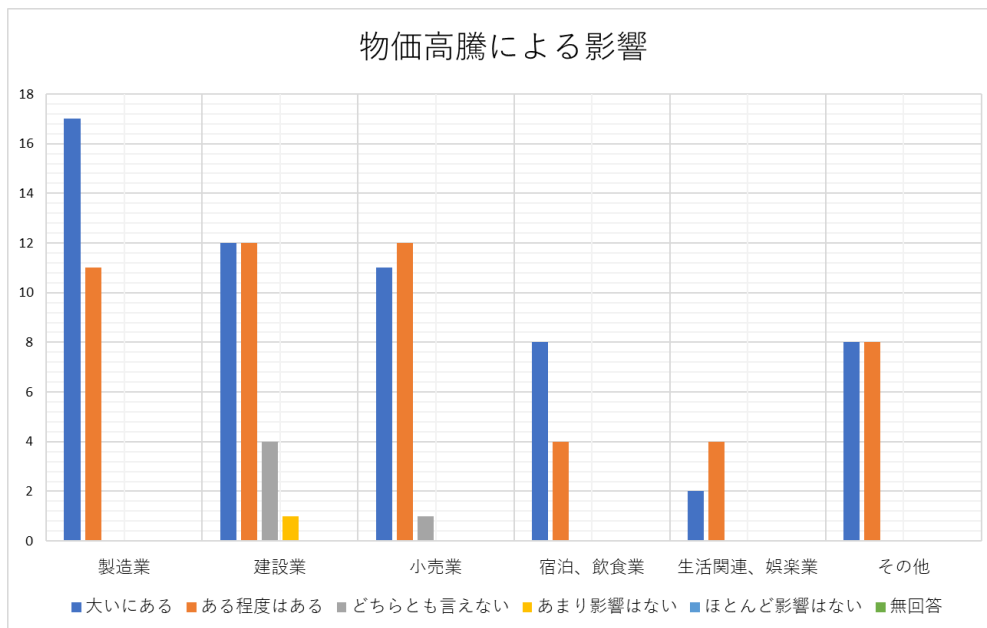
<現在直面している課題の解決に向けて貴社が行っている取り組み>

- ・若者が地域にいない訳ではなく採用してはみるが長続きしないやるせなさ等あり
採用者側も若者を採用するのに躊躇してしまいがちです。人材確保、育成が田舎で成り立てば自ずと若者永住にも光が見えてくると思います。
- ・労働時間の短縮。
- ・設備投資の先送り。
- ・他業種への取組み。
- ・仕入経費や人件費増になってきている。金利負担も増えている中で、粗利を確保する為値上げを行っている。お客様離れは今のところない。
- ・経営指針書の更新と実行
- ・保護者との面談を定期的に行うのではなく、希望があればその都度実施する方式に変え、ご家庭との連携を密にするよう努めている。
- ・現在行っている事業に関連する他の事業に積極的に関わり、新たな展開を模索している。
- ・経費の削減に取り組んでいるが限界がある。
- ・人材確保と育成の部分で人件費かける予定が立たない
- ・特にはしてないがハローワークに求人出しても来ないので、別の求人を考えようと思っている。友人など口コミではパートを探している。
- ・人員を減らして少しずつ注文に対応している。間に合うように回している。
- ・まだ年数も浅いため具体的な取り組みは行っていない。メニューの差別化や対客層の働きかけを積極的に毎日送り続けていくことを意識している。ニーズに応えることより、より良いものを与えられるよう努力続けていくことを大切にしている。自分自身が本線よりぶれないことがお客様に対しての一番のアピール宣伝効果であると思っています。

- ・給与、労働環境の改善。
- ・人件費や物価高騰の影響を踏まえ、質の高い警備サービスを安定的に提供するため、取引先様への単価改定のお願いを進めております。

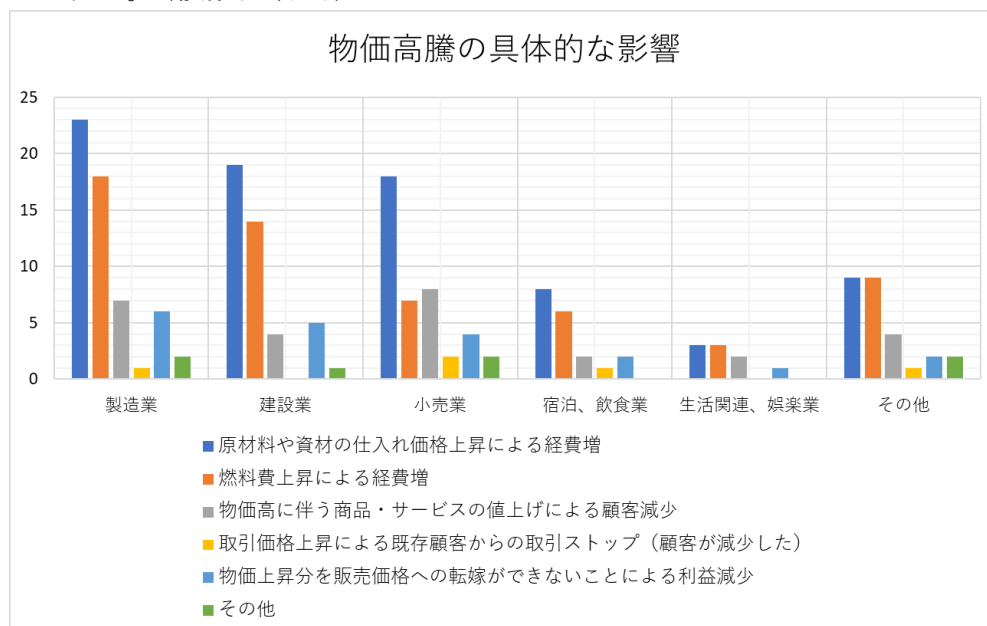
4. 物価高騰について

問1 現在、御社において物価高騰による影響はどの程度ございますか。
(あてはまるもの1つお答えください)

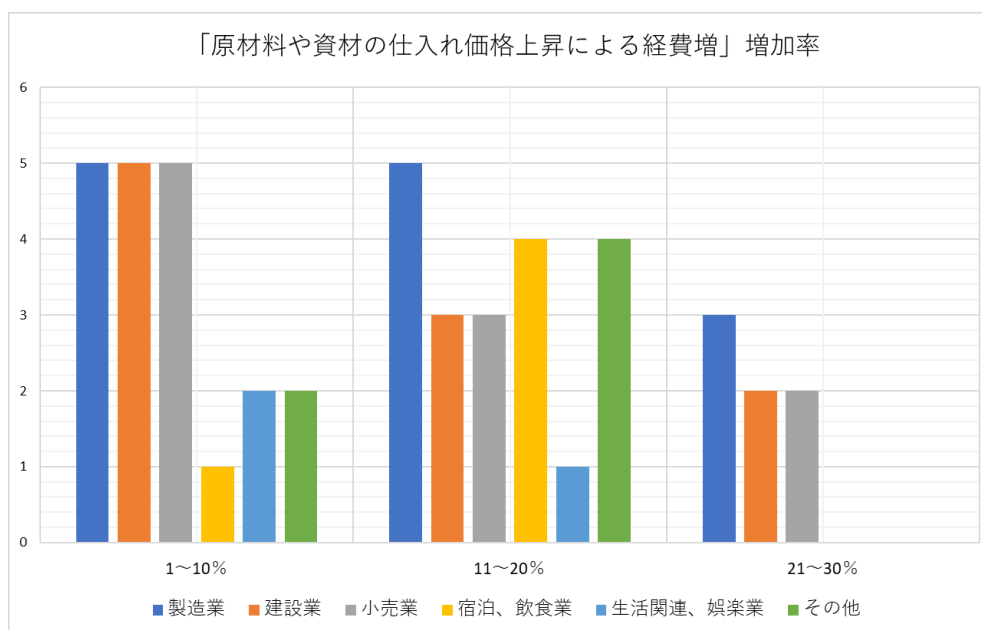


全体的に「大いにある」「ある程度はある」という回答が多く、依然として影響が大きいことがうかがえる。

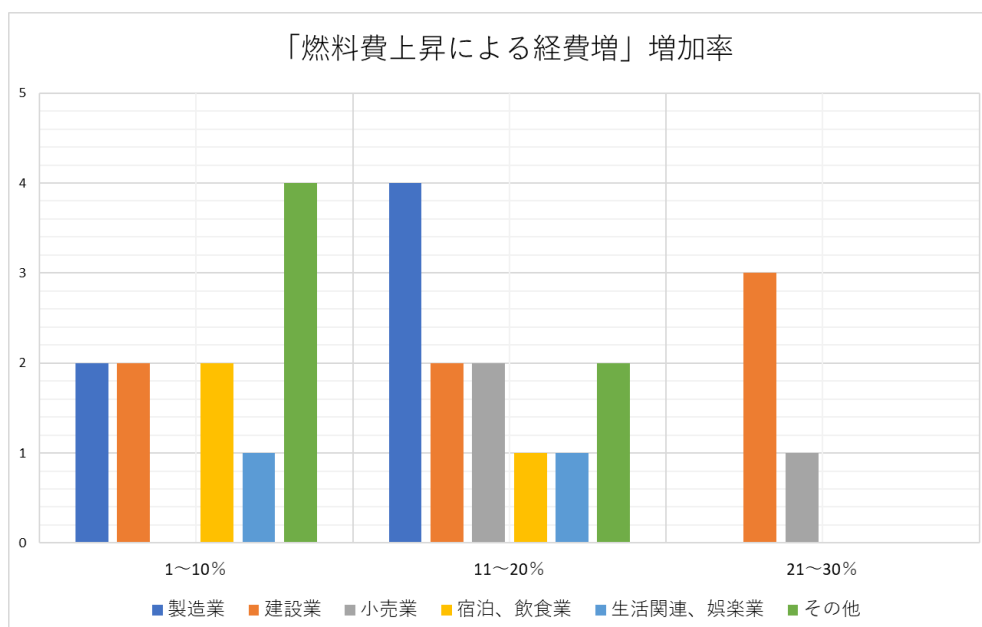
問2 問1で「①大いにある」または「②ある程度はある」と回答した方にお聞きします。
具体的にどのような影響がございますか。また、前年と比べてどの程度増減が
ございますか。(複数回答可)



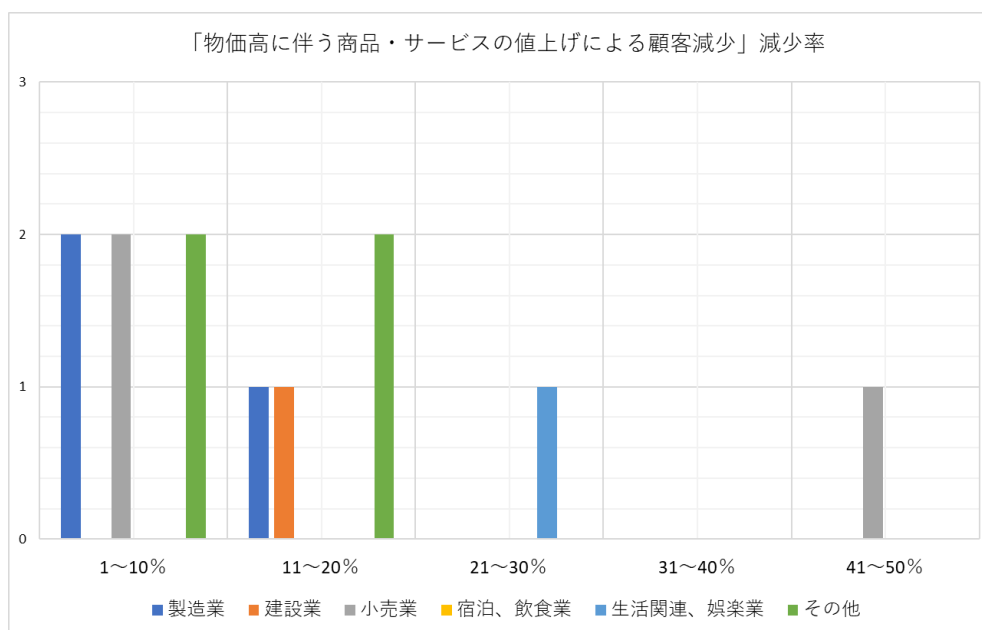
「原材料や資材の仕入れ価格上昇による上昇率」



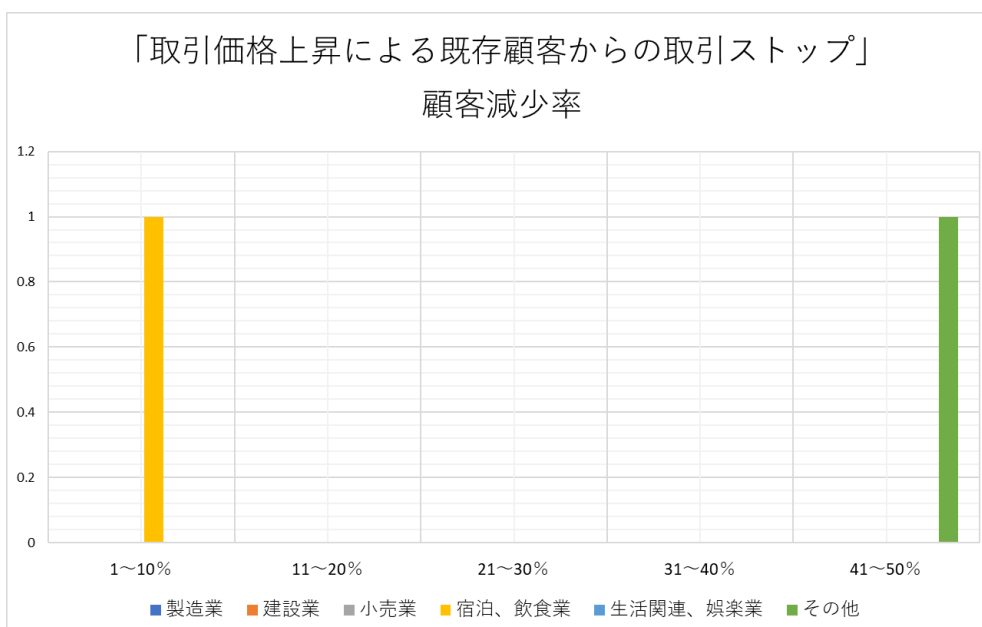
「燃料費上昇による経費増」 増加率



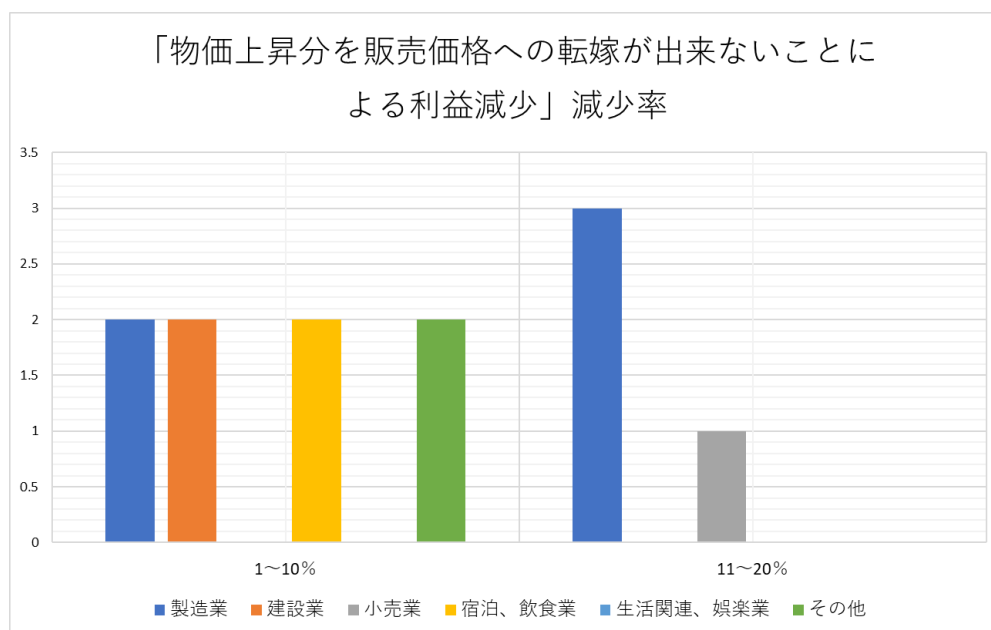
「物価高に伴う商品・サービスの値上げによる顧客減少」減少率



「取引価格上昇による既存顧客からの取引ストップ」顧客減少率



「物価上昇分を販売価格への転嫁が出来ないことによる利益減少」減少率

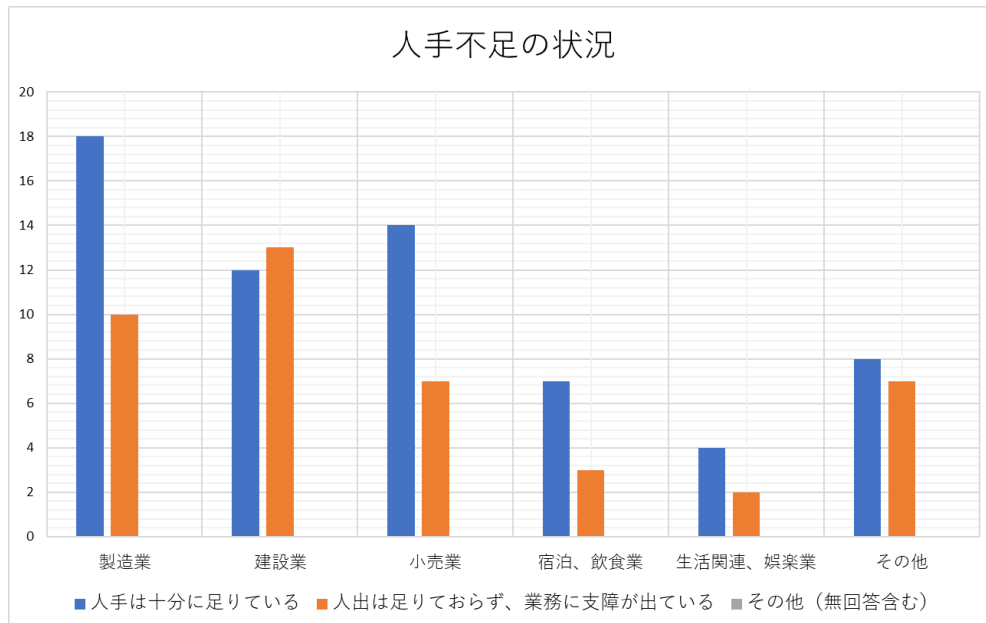


「原材料や資材の仕入れ価格上昇による経費増」「燃料費上昇による経費増」が全体的に多く、影響が大きいことがわかる。各項目の増減率は各グラフの通り。

5. 人出不足について

問3 御社における人手不足の状況について教えてください。

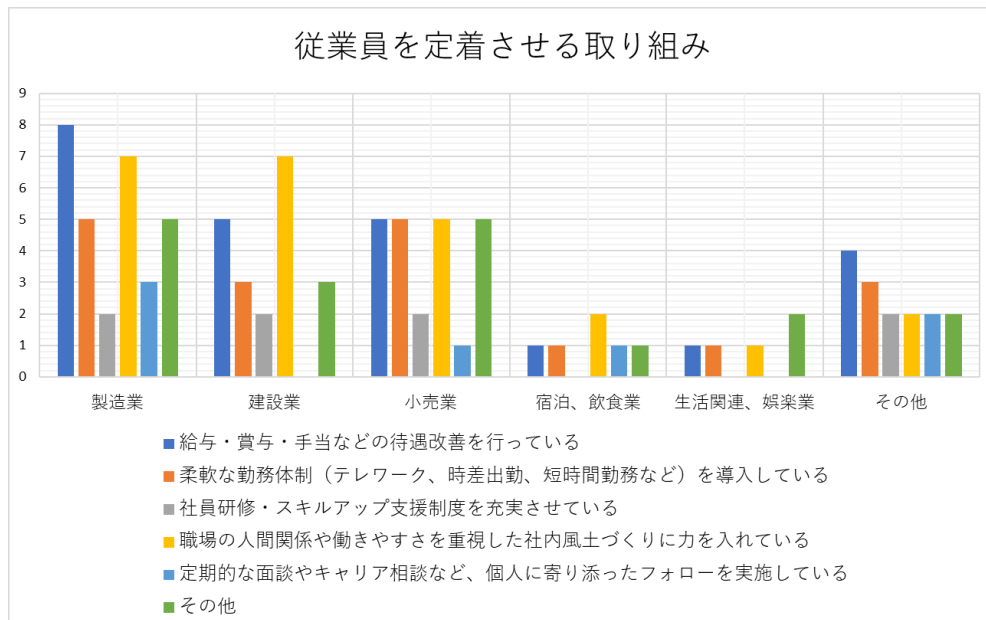
(あてはまるもの1つお答えください)



全体的に人手は足りている傾向にあるが、建設業では、人手が足りていないという回答が最も多かった。

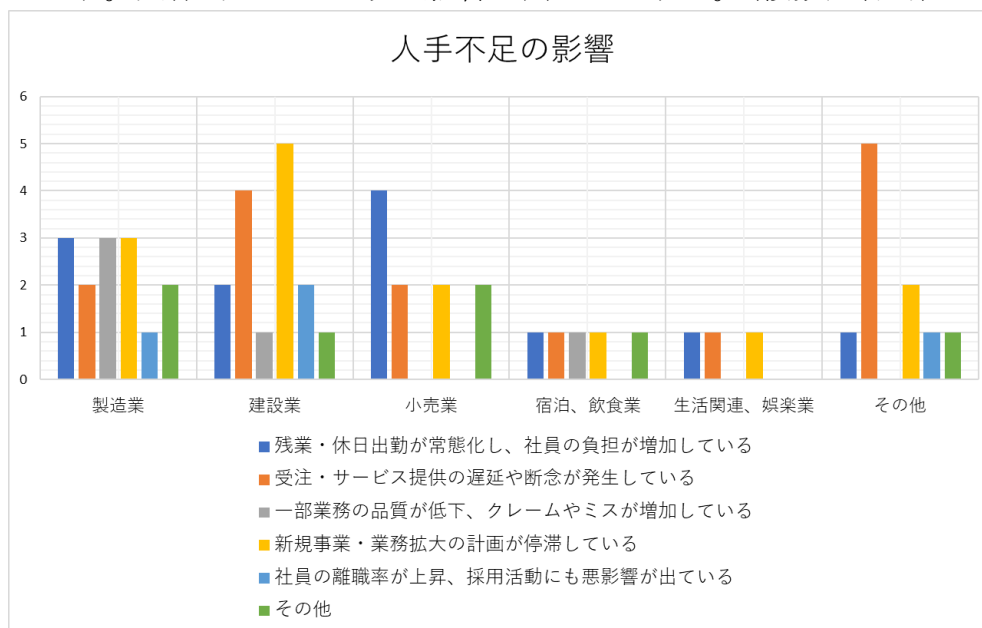
問4 問3において「①人手は十分に足りている」と答えた方にお聞きします。

従業員を定着させるために取り組んでいることはございますか。(複数回答可)



多い回答としては、給与・賞与・手当などの待遇改善、働きやすさを重視した社内風土づくりがあり、どの業種も様々な取り組みを行っていることがうかがえる。

問5 問3において「②人出は足りておらず、業務に支障が出ている」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような影響が出ていますか。（複数回答可）

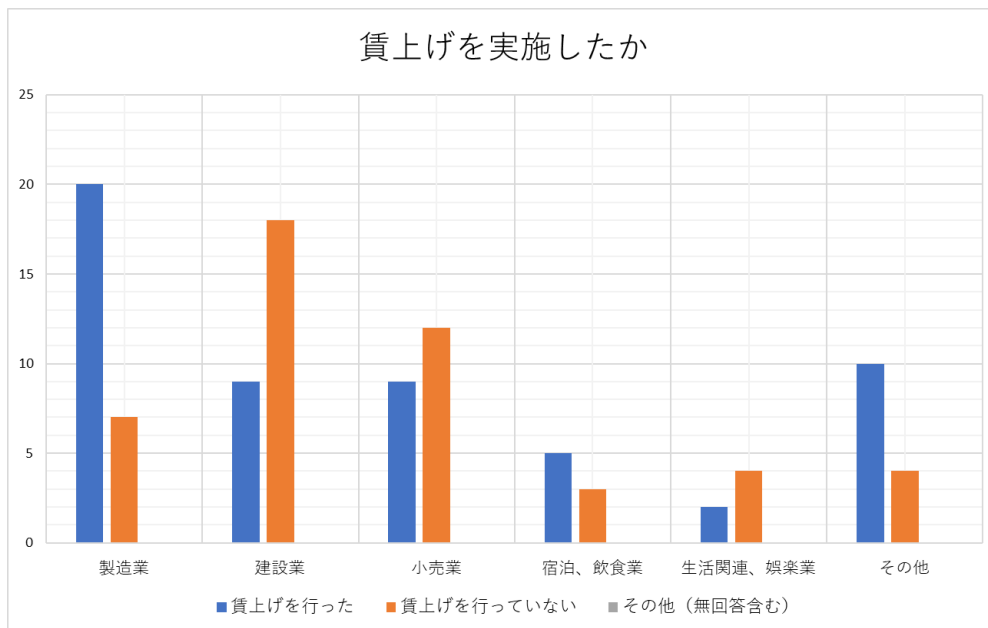


各業種において様々な影響が出ているが、特に建設業においては、「新規事業・業務拡大の計画が停滞している」という回答が多く、業務に支障が出ている状況。

6. 賃上げについて

問6 御社では令和6年度、賃上げを実施しましたか。

(あてはまるもの1つお答えください)

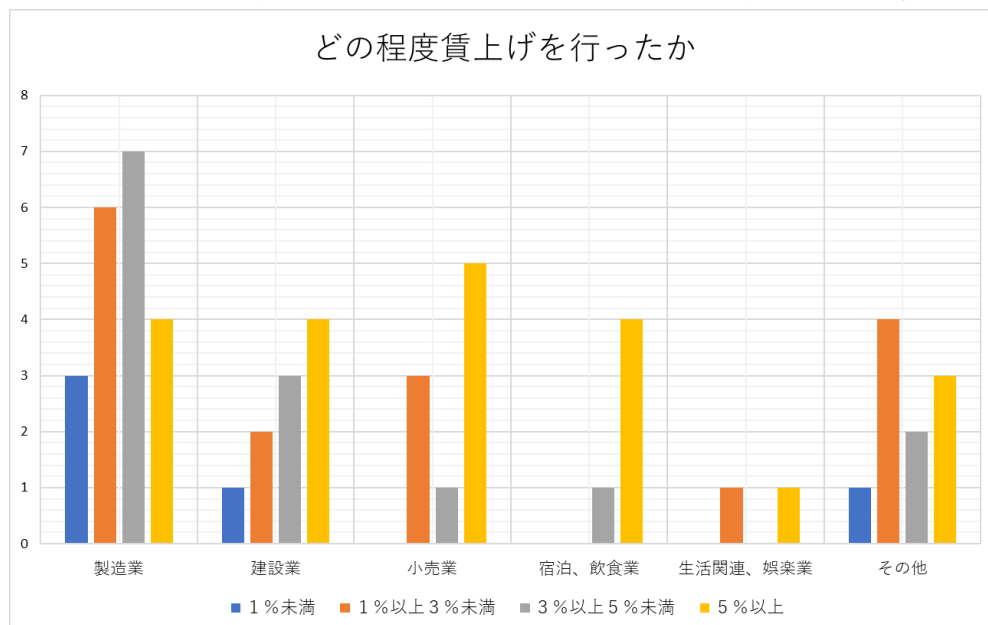


製造業においては賃上げを行ったとの回答が多かった一方、建設業、小売業においては賃上げを行っていないという回答が多く、業種によってばらつきが見られた。

問7 問6において「①賃上げを行った」と回答した方にお聞きします。令和6年度にどの程度賃上げをおこないましたか。

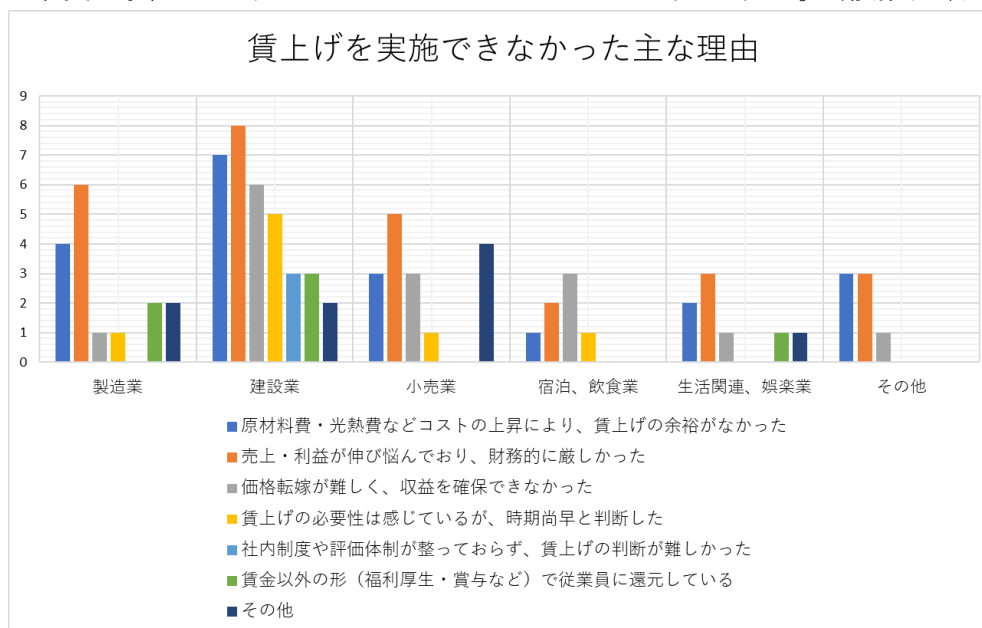
(令和5年度の事業場内最低賃金と比較して、あてはまるもの1つお答えください。)

もし職種や役職などで賃上げ幅にばらつきがある場合は、その平均値でお答えください)



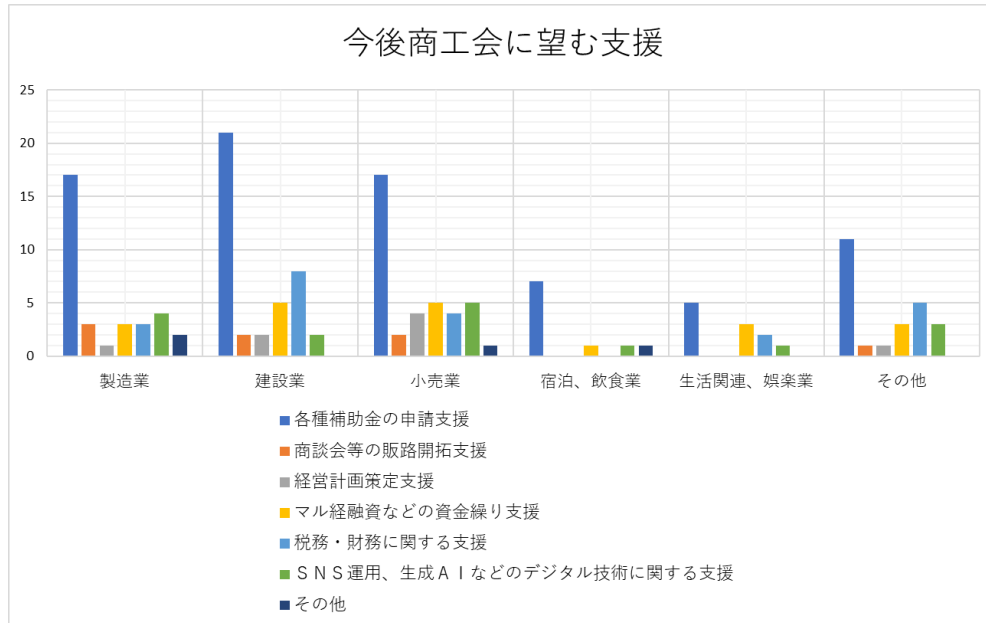
どの業種においても5%以上との回答が一定数あり、大幅な賃上げを行ったところが多いことがわかる。

問8 問6において「②賃上げを行っていない」と回答した方にお聞きします。
令和6年度に賃上げを実施できなかった主な理由は何ですか。（複数回答可）



売上・利益が伸び悩んでいる、原材料費・光熱費などのコスト増という回答がどの業種でも見られ、特に建設業においては価格転嫁が難しいという理由も多く見られた。

7. 今後商工会に望む支援について



どの業種においても「各種補助金の申請支援」が圧倒的に多く、補助金使用を考えている事業所が多いことがわかる。

8. 本会に対する要望等

- ・今後益々の遠田地区の高齢化衰退化への取組み、魅力ある遠田地域作りに対するビジョン作りなど期待します。
- ・他業種とのコミュニケーション。
- ・人口減、高齢化に伴う組織の見直しが必要と思います。小規模事業者が多く経営議論がほぼできません。要は自治体をまたいでの商工会は支障が大きいと感じます。
- ・特にございません。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・特にありませんが老眼鏡をつけて事務をしていると文章を読むのがおっくうになり、スルーすることが多くなりました。昔は茶も飲みながら商売のことやら世の中の情勢を話しに来てくれたなあと懐かしく思います。
- ・私達中小企業は少なからず税金や保険料など多くの負担を強いられています。国や県をはじめとする行政は様々なルールを定め補助金や助成金、その他給付金等で支払ったお金を分配しています。せっかくある制度なので使わなければ損した気分になりますが、利用すれば必要性を疑問視していた負担が実は必要であることを認める形になってしまいます。効率よく、タイミングよく利活用すればするほど、その裏で負担が増加しそうで言いようのない歯痒さをそこに感じます。補助金や助成金など、数えればきりが無いほど日々更新されているようですが、限られた人員で日常業務をやりくりしている我々中小企業はそれらを利活用するどころか知ることすらないままに期日が過ぎてしまうのが日常です。厳しいご時世ですから、できる限り効率的に様々な制度を利活用し、本業が安定にむかい経営陣や従業員及びその家族、お客様方々が不安のない生活を送れるようサポートをお願いしたいと思います。
- ・総会資料で会員の支援や巡回など多数の実績がみられますが本当に会員のための巡回や支援などでしょうか？ 共済事業の数字や対応実績の数字のみで商工会としての役割としてないでしょうか。
- ・良くしていただいていると思います。ありがとうございます。

Ⅲ. 調査票

地域経済動向調査票

1. 地 区

(①小牛田 ・ ②南郷 ・ ③涌谷)

2. 業 種

①製造業 ・ ②建設業 ・ ③小売業 <1. 衣料品 2. 食料品 3. 耐久消費財 4. その他()>
④宿泊、飲食業 ・ ⑤生活関連、娯楽業 ・ ⑥その他 ()

3. 企業形態

①個人 ・ ②法人

4. 営業年数 _____ 年

5. 事業主年代

①20代 ・ ②30代 ・ ③40代 ・ ④50代 ・ ⑤60代 ・ ⑥70代 ・ ⑦80代以上

6. 後 継 者

①有 ・ ②無 ・ ③未定 ・ ④承継済 ※後継者無しの場合、今後の継続予定年数 _____ 年

7. 今期の現況 (各項目ごとに○を付けて下さい。令和6年と令和7年の比較をお願いします。)

調 査 項 目		増 加	不 変	減 少
売 上 高	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
客 単 価	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
利用客数	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
仕入単価	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
従業員数	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
借 入 金	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
設備投資	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1

調 査 項 目		好 転	不 変	悪 化
資金繰り	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
採 算 性	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
業 況	前 年 比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1

8. 現在直面している課題（下記よりお選び下さい。複数回答可）

売上減少・仕入(原材料費)の高騰・経費増・人件費増・競合激化・資金繰り
取引先の減少・消費者ニーズへの対応・店舗、施設の老朽化・人材確保、育成
新分野進出・情報化の推進・経費削減・金利負担の増加・後継者の育成、継承
事業縮小・経営組織の見直し・その他（ ）

≪具体的内容を差し支えなければ教えてください≫

9. 現在直面している課題の解決に向けて貴社が行っている取り組みについて（自由意見）

10. 物価高騰、人手不足、賃上げに関するアンケート

＜物価高騰に関するアンケート＞

食料品価格やエネルギー価格の高止まり、輸入コストの上昇など依然として物価高騰は続いており、私たちの生活や企業運営に少なからず影響を及ぼしております。このことを踏まえ、御社の物価高への影響についてお尋ねします。

問1 現在、御社において物価高騰による影響はどの程度ございますか。
（あてはまるもの1つお答えください）

- ☐①大いにある
☐②ある程度はある
☐③どちらとも言えない
☐④あまり影響はない
☐⑤ほとんど影響はない

問2 問1で「①大いにある」または「②ある程度はある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのような影響がございますか。また、前年と比べてどの程度増減がございますか。（複数回答可）

- ☐①原材料や資材の仕入れ価格上昇による経費増（前年比 %増）
☐②燃料費上昇による経費増（前年比 %増）
☐③物価高に伴う商品・サービスの値上げによる顧客減少（前年比 %減）
☐④取引価格上昇による既存顧客からの取引ストップ（顧客が減少した）（前年比 %減）
☐⑤物価上昇分を販売価格への転嫁ができないことによる利益減少（前年比 %減）
☐⑥その他（例：資材等が入手困難になっている）（ ）

<人出不足について>

現在、労働人口の減少と高齢化などの影響により、人手不足の問題が深刻化しております。このことに伴う御社の状況をお尋ねします。

問3 御社における人手不足の状況について教えてください。

(あてはまるもの1つお答えください)

- ☐①人手は十分に足りている ⇒問4へ
☐②人出は足りておらず、業務に支障が出ている ⇒問5へ

問4 問3において「①人手は十分に足りている」と答えた方にお聞きします。従業員を定着させるために取り組んでいることはございますか。(複数回答可)

- ☐①給与・賞与・手当などの待遇改善を行っている
☐②柔軟な勤務体制(テレワーク、時差出勤、短時間勤務など)を導入している
☐③社員研修・スキルアップ支援制度を充実させている
☐④職場の人間関係や働きやすさを重視した社内風土づくりに力を入れている
☐⑤定期的な面談やキャリア相談など、個人に寄り添ったフォローを実施している
☐⑥その他()

問5 問3において「②人出は足りておらず、業務に支障が出ている」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような影響が出ていますか。(複数回答可)

- ☐①残業・休日出勤が常態化し、社員の負担が増加している
☐②受注・サービス提供の遅延や断念が発生している
☐③一部業務の品質が低下、クレームやミスが増加している
☐④新規事業・業務拡大の計画が停滞している
☐⑤社員の離職率が上昇、採用活動にも悪影響が出ている
☐⑥その他()

<賃上げについて>

政府は賃上げについて、「実質賃金+1%」「全国最低賃金を2020年代に1,500円」という目標を掲げております。この状況を踏まえ、御社の賃上げの状況についてお聞きします。

問6 御社では令和6年度、賃上げを実施しましたか。

(あてはまるもの1つお答えください)

- ☐①賃上げを行った ⇒問7へ
☐②賃上げを行っていない ⇒問8へ

問7 問6において「①賃上げを行った」と回答した方にお聞きします。令和6年度にどの程度賃上げをおこないましたか。

(令和5年度の事業場内最低賃金と比較して、あてはまるもの1つお答えください。もし職種や役職などで賃上げ幅にばらつきがある場合は、その平均値でお答えください)

- ☐①1%未満
☐②1%以上3%未満
☐③3%以上5%未満
☐④5%以上

